

令和8年度 (自 令和 8年 4月 1日)
(至 令和 9年 3月 31日)

事業計画書

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

令和8年度 事業計画書

□ 事業運営方針

令和8年度は、国内経済の動向や国際情勢など日本を取り巻く環境は変動要因も多く、加えて気候変動対応や、観光業界では深刻な人手不足も叫ばれおり、工夫や対応力が問われると言われてしています。

そのような中、県内では6月からの宿泊税導入もあり、急増しているインバウンドを観光の最重要トレンドとして捉え、前年度までの継続事業の一層の磨き上げを行ってまいります。

また、令和9年度の「善光寺前立本尊御開帳」「戸隠神社式年大祭」「信州デスティネーションキャンペーン」に照準を合わせた誘客に向けても、本格的に準備を進めてまいります。

□ コンベンション事業

学会・大会がオンラインやハイブリッド会議で開催される事も多くなっていますが、実際に参加者が一堂に会し、参加者のネットワークづくりが行われる事は重要な機会と考え、継続的に主催者への営業に取り組んでまいります。特に、令和4年度から取り組んできた高等教育機関4校との包括的連携協定締結を活かし、個別アプローチ含む支援内容の周知、及び、きめ細かなサポートをする事により、前年度に増加した国際大会をはじめ更なる案件を発掘してまいります。さらに、「国際MICEエキスポ」への出展や県学習旅行誘致推進協議会主催の商談会への複数回の参加を通じて、効果的な誘客を図ります。

また、令和8年「第47回北信越国民スポーツ大会」、令和10年「信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）」等の開催も好機と捉え、併せて、学生団体を含む連泊が見込めるスポーツ大会、合宿誘致にも引き続き注力してまいります。

□ 観光振興事業

多様化する個人の趣味趣向に響くように、引き続きエリア別、テーマ別のお薦め情報についてデジタル媒体を中心に発信し、効果的な誘客を図ってまいります。

国内旅行に関しては、旅行博や大都市で開催のイベントへの出展や、前年度に多くの旅行会社で活用いただいた「長野市バスツアー造成支援金」「長野市着地型旅行商品造成支援金」制度により、来訪者数の更なる底上げを図ります。加えて、ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会と連携した「OTA利用促進キャンペーン」による宿泊促進や、フィルムコミッションのロケ支援など様々な面から観光振興に取り組んでまいります。

隆盛なインバウンド^①に関しては、海外に向けた誘客プロモーションを一層強化し、当法人の重点対象国（台湾・タイ王国・オーストラリア・シンガポール・アメリカ合衆国）を基軸に、これまで構築、実践してきた戦略を基に推進してまいります。さらに、北陸新幹線の利便性も鑑み、本市を宿泊拠点として本市や周辺地域を楽しむ“新たなスタイル”「Travel HUB NAGANO City」を促進してまいります。これまで長野市観光情報センターも含めた長野駅周辺における来訪者の利便性向上と“長野市ハブ化”に向けて、荷物預かり所の設置やスキー用品のレンタル等、急速な拡大への対応として受入環境の整備を行ってきましたが、文化の違いなどから生じているマナー違反等への対応についても、速やかに着手してまいります。

近年の観光は、大量消費型から深い文化体験などを重視する「質」の時代へと世界的に変化しています。引き続き、賛助会員の皆様、地方自治体、関係諸団体とも緊密に連携し、本市の資産である“人の温かさ”“豊かな自然”“歴史文化”を活用しながら事業を推進してまいります。

I コンベンション事業

事業趣旨（目的）

本事業は、当法人がこれまでに培ってきた人的ネットワークや事業ノウハウと、長野市がオリンピック・パラリンピック開催歴を通じて蓄積した豊富な知識・情報、文化・スポーツ・コンベンション施設等を有効活用し、長野市に各種コンベンションを誘致することにより、長野市の経済産業の活性化及び街の賑わい創出を図り、もって地域振興を促進することを目的とする事業である。

事業目標

当年度のコンベンション参加者総数が前年度を超えることを目指し、市内経済産業の活性化及び街の賑わい創出を図り、地域振興の促進に寄与する

事業の概要

コンベンション事業費	予算額	前年度予算額	比較増減
	100,735 千円	87,078 千円	13,657 千円

1 コンベンション誘致事業

(1) 高等教育機関との包括的連携協定締結に基づくコンベンション案件発掘

令和6年度までに締結した県内高等教育機関との包括的連携協定を活かし、支援内容の周知及びきめ細やかなサポートをすることにより、コンベンション案件を発掘する。

特に信州大学については、学会等多数の案件を有していると考えられることから、定期的なキャンパス内での相談デスク設置や研究室見学会、大学見本市等に積極的に参加してキーパーソンとの接点を増やし、案件の発掘及び獲得につなげる。

【包括的連携協定締結機関】

国立大学法人信州大学	(令和5年3月22日締結)
公立大学法人長野県立大学	(令和5年6月1日締結)
清泉大学・清泉大学短期大学部	(令和6年4月1日締結)
学校法人四徳学園 長野保健医療大学	(令和6年4月1日締結)

(2) 観光庁コンベンションビューロー支援事業をフックにした学会の誘致活動強化

令和6年度に受講した「観光庁コンベンションビューロー支援事業」により得た知見を活かし、国際会議を含めた学会案件の誘致活動を積極的に行っていく。

(3) コンベンション開催地決定に影響力を持つキーパーソンの発掘

コンベンション開催場所の決定に影響力を持つ長野市や長野県等の行政組織及び商工団体、県人会等への営業を強化し、キーパーソンの発掘を行う。

【主なリサーチ対象団体】

市や県の行政組織、長野商工会議所、長野市商工会、(一社)長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県人会連合会、名古屋長野県人会等の官・民組織

(4) 観光庁をはじめとする政府機関や全国コンベンション誘致団体等との連携強化

観光庁をはじめとする政府機関や全国のコンベンション関係団体との連携を強化し、各種会議・シンポジウム・セミナー等へ積極的に参加するとともに、過去の議事録を再確認するなど、コンベンション誘致に伴う有益な情報の収集に努める。

【主な連携団体】

- JCCB ((一社)日本コンGRES・コンベンション・ビューロー)
- JCMA ((一社)日本コンベンション協会)
- JSTA ((一社)日本スポーツツーリズム推進機構)
- 中部コンベンション連絡協議会
- 四都市コンベンションビューロー連携会議(福井、浜松、鳥取、長野)

(5) 教育機関に対する合宿・教育旅行誘致

長野県学習旅行誘致推進協議会が実施する首都圏、関西圏、中京圏の商談会やキャラバンを有効活用し、積極的に参加して各エリアの教育旅行マーケットにおける最新動向を把握するとともに、学生の合宿誘致を推進する。また、昨今のインバウンド増加に伴うオーバーツーリズム問題等に起因して修学旅行に方面変更が生じている状況を注視して、新たなターゲット設定及び営業訪問を展開する。

(6) ビッグハット、エムウェーブを対象とした大規模コンサート開催に対する支援

ビッグハット及びエムウェーブで開催される大規模コンサートは、市内への経済波及効果が極めて大きいため、令和6年度から施行した長野駅と会場間のシャトルバス運行に対する経費を支援する「コンサートシャトルバス支援制度」の周知と利用促進を図る。

(7) 過去のデータベースに基づくターゲットの設定と今後の誘致活動に活かせるデータ管理

これまでの膨大な誘致活動データをできる限り整理して、ターゲットの見える化を行う。
また、開催終了した案件は、主催者評価やキーパーソン情報も含めた今後の誘致に活かせるデータベースとなるように、システム仕様の修正及び入力方法を統一する。

2 コンベンション開催を促進するために行う各種支援事業

(1) コンベンション支援

コンベンション開催を促進するために、各種要綱に基づき、支援を行うもの。

【支援内容】

- ① JR長野駅デジタルサイネージ及び大会開催会場における歓迎看板等の設置・掲出
- ② パンフレット等の提供
- ③ エクスカーションバス・シャトルバス(駅・会場・宿泊施設間)の運行
- ④ 商店街等への歓迎ポスター・タクシードアへの歓迎ステッカー掲出
- ⑤ アトラクションの提供

(2) 助成金及び支援金の交付

コンベンション開催を促進するために、各種要綱に基づき、主催者または旅行事業者に対し、助成金及び支援金交付を行うもの。

【助成金・支援金一覧】

- ① 主催者に対する助成金・支援金
 - ア コンベンション開催助成金
 - イ 国際コンベンション開催助成金
 - ウ スポーツ大会開催支援金
 - エ 合宿開催支援金
 - オ 企業コンベンション開催助成金
 - カ コンサートシャトルバス支援金
- ② 旅行事業者・交通事業者等に対する支援金
 - ア 企業コンベンション送客促進支援金
 - イ 合宿幹旋送客促進支援金
 - ウ コンサートシャトルバス支援金

(3) コンベンション開催準備金貸付

長野市内で開催されるコンベンションに対し、主催者支援のためコンベンション開催準備金の貸付を行い、主催者の便宜を図ることによりコンベンション誘致を促進するもの。

具体的には、主催者への貸付金を当法人が金融機関から借り入れ、利息及び手続き費用を当法人が負担し、主催者へ無利息で貸し付けを行う。

3 コンベンションに関する情報収集・情報発信

(1) 情報収集

① コンベンションアンケート

コンベンション主催者・参加者へのアンケート調査を行い、調査結果を基に誘致活動・受入態勢を強化するとともに、調査に基づく経済波及効果等の試算・公表を行う。

② コンベンションデータベース

過去に取り扱った案件のデータベースを整理し、次の誘致に繋がるデータ基盤を構築する。

(2) 情報発信

① コンベンション誘致情報のデータベース管理により、情報共有化と誘致活動を推進する。

② 長野市のコンベンション、合宿及び観光情報等を当法人ホームページから発信する。

また、当法人ホームページ賛助会員専用ページのコンベンション開催等情報を随時更新するとともに、賛助会員へ次年度以降開催のコンベンション情報を提供する。

③ 機関紙「インフォームながの」を発行し、賛助会員、関係行政機関、大会主催者等に、事業活動報告及びコンベンション・観光に関する情報を提供する。(年3回発行)

④ コンベンション開催予定状況調査によるコンベンションカレンダーを発行し、コンベンションの告知及びイベント情報の紹介を行う。

⑤ MICE業界誌、県人会誌、大会プログラム等への広告掲載により、大会主催者や大会参加者に向けて長野市のPRを行う。

(3) 関連組織との協調による情報収集等

国内及び国際コンベンション推進機関等の会議・研修会等に参加することで、国の政策動向や全国のコンベンション関連組織の動向、コンベンション開催状況等の最新情報を収集し、長野市への誘致活動を効果的に実施、推進するもの。

【主な連携団体】

JCCB ((一社)日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

JCMA ((一社)日本コンベンション協会)

JSTA ((一社)日本スポーツツーリズム推進機構)

中部コンベンション連絡協議会

四都市コンベンションビューロー連携会議(福井、浜松、鳥取、長野)

4 「おもてなしの心」の醸成を図る事業

セミナー及び情報交換会の開催により、「市民のおもてなしの心」の醸成及び賛助会員間の情報交換や連携推進を図る。

Ⅱ 観光振興事業

事業趣旨（目的）

本事業は、長野市及び北信濃地域の自然、文化、歴史などの豊かな観光資源をさまざまな手段により広く一般に広報宣伝することで観光誘客を促進し、もって地域振興を促進することを目的とする事業である。

また、観光誘客により国内外からの多くの来訪者が訪れ地域住民と交流することで、長野市及び周辺地域の産業経済の活性化を推進するとともに、長野市の文化向上や国際相互理解、地元住民の郷土愛育成に寄与するものである。

事業目標

滞在時間が延び、飲食機会や買い物機会が増えることで、観光消費額の増加に大きく寄与する宿泊者数の増加を図る。また、情報発信や観光地の認知拡大の取り組みも合わせて実施することによって、新規来訪者を呼び込み、観光地利用者数の増加を図る。

事業の概要

観光振興事業費	予算額	前年度予算額	比較増減
	250,790 千円	186,321 千円	64,469 千円

1 観光宣伝事業

多様な媒体を活用し、長野市の観光及び特産品のPR活動を通じて長野市及び周辺地域の知名度向上を図る。

(1) 自主媒体

① デジタル媒体

ア 公式ホームページ

個人の好みや興味・関心に合わせた旅行が増加しているため、多様化する個人の趣味趣向に響くようにエリア別、テーマ別のおすすめ情報を提案型で発信する。

URL <https://www.nagano-cvb.or.jp>

イ SNS

ユーザーや発信する内容に適したSNS媒体を活用し、旬な観光情報を発信する。

【利用サービス】

Instagram https://www.instagram.com/nagano_cvb/

X (旧 Twitter) https://twitter.com/nagano_cvb

Facebook <https://www.facebook.com/nagano.cvb/>

Threads https://www.threads.net/@nagano_cvb

ウ デジタルサイネージ

JR長野駅デジタルサイネージを活用し、長野市PR動画を放映することにより、長野市の魅力発信に努める。

② アナログ媒体

ア パンフレット

長野市ならではの歴史・文化・自然や、郷土食を紹介するパンフレット等を作成し、各種イベントや旅行商談会等で配布することにより、旅先として選ばれるようPRする。

また、インバウンドに向け外国語（英語・中国語等）版観光パンフレット等を作成し、海外旅行博等で配布することにより、長野市の代表的な観光情報を継続的に発信し、

知名度向上を図る。

【作成対象】

＜国内向け＞

長野市総合パンフレット／長野市街散策案内（長野駅～善光寺周辺マップ）／
英語併記ガイドマップ／長野市ロードマップ／ながのグルメガイド

＜インバウンド向け＞

英語版長野市総合パンフレット／中国語繁体字版長野市総合パンフレット／
中国語簡体字長野市総合パンフレット／韓国語長野市総合パンフレット／
タイ語版長野市総合パンフレット

（2）他社媒体

① テレビ・ラジオ

ターゲットを明確に定め、訴求効果の高い内容となるよう企画し、長野市が旅の目的地となるよう発信する。

② ウェブサイト

OTA（オンライン・トラベル・エージェンツ）等のウェブサイトを活用し、長野市の魅力を発信する。

③ デジタルマップ

紙とデジタルのメリットを融合させた善光寺表参道界隈のデジタルイラストマップを活用し、旅マエ・旅ナカの情報収集の利便性向上を図るとともに、実際の行動に基づくGPSデータを取得することにより、善光寺表参道における来訪者の行動分析を行う。

④ 新聞・雑誌等への広告掲載

新幹線車内誌への記事掲載等、ターゲットを明確に定めた訴求効果の高い媒体を活用して、長野市の観光情報を発信する。

（3）リアルイベント

① 旅行博・旅行商談会

ツーリズムEXPOや旅行商談会等に出展し、旅行への関心が高い一般消費者や観光業界関係者に対して具体的に観光コンテンツの魅力をPRする。

（4）善光寺御開帳事業

令和9年に開催予定の「善光寺前立本尊御開帳」「戸隠神社式年大祭」「信州デスティネーションキャンペーン」について、善光寺御開帳奉賛会、JR東日本長野支社・長野駅ほか、関係団体と連携して国内外に向けたプロモーションを行う。

2 誘客推進事業

長野市及び周辺地域の観光関係団体・交通事業者・観光事業者と連携し、国内外から長野市及び周辺地域への誘客推進を図る。

【国内向け事業】

（1）旅行会社への情報発信及び支援金交付

団体旅行が減少する中で、よりテーマ性の高い旅行が求められていることから、旅行会社に対して具体的な観光素材の提供を行って効果的な誘客を図るとともに、旅行会社から企画提案のあった旅行商品を対象に、バスツアー造成支援金を交付する。

（2）松代文化施設等におけるクーポン券精算業務

長野市の文化財施設入館料の精算における利便性を高め、立寄り先として選んでもらうため、松代文化施設等における旅行会社とのクーポン券精算業務を行う。

【インバウンド向け事業（ターゲット国別誘客戦略）】

インバウンドに関しては、以下の5か国を主要ターゲット国に設定し、個々に具体的な戦略をもって誘客推進に努める。また、海外から視察等に訪れるエージェントやランドオペレーターに対しては、その機会を最大限に活かして関係構築に努めるとともに、データベース化を推進する。

加えて、きめ細やかなフォローアップによって良好な関係を維持することにより、商品造成へと結び付ける。

(1) 台湾

20年以上前から展開してきた旅行博出展やセールス訪問などの誘客プロモーション、しなの鉄道及び台湾鉄道管理局との連携に加え、令和6年度から営業活動などの業務を委託している現地代理店を活用することで、更なる誘客強化を図る。

また、善光寺御開帳に向けて、現地プロモーションを展開する。

(2) タイ王国

平成25年（2013年）から出展している現地旅行博などでのプロモーションとともに、令和5年からの駐日タイ王国大使館との繋がりを活かし、長野市内における市民のタイ王国の文化への関心や理解を深め、相互交流を促すことによるプロモーションを展開する。

タイの有名インフルエンサーを観光アンバサダーとして委嘱し、プロデュースしたツアーを現地でプロモーションするとともに、善光寺御開帳の閑散期にあたる令和9年4月に本人参加の特別ツアーを企画する。

(3) オーストラリア

令和5年3月に「長期滞在型観光振興に係る協定」を締結した長野市、松本市、白馬村の3市村で連携し、冬期にスキー目的で白馬村を訪れる外国人旅行客を対象に交通や食、市内観光コンテンツの情報発信を強化することで白馬村からの周遊を促す。

長野駅周辺に滞在し、スノーリゾートへ通う新たな旅行スタイルをすすめるスノーHUBの取組を関係事業者、(一社)長野県観光機構、周辺自治体と連携して進める。

(4) シンガポール

スクールホリデー時期に合わせ雪をテーマとしたプロモーションを展開し、長野駅を拠点としたスノーリゾートへのアクセスや冬の魅力を発信する。

(5) アメリカ合衆国

在日米国民が主な利用者である旅行事業者へのプロモーションを数年にわたり実施してきた結果、令和7年度に「真田十万石まつり観覧ツアー」が初めて催行されたことから、同ツアーの定番化を図る。

また、令和7年度に長野県が企画した現地セールスに参加したことにより、現地の旅行事業者との繋がりができたため、トラベルアドバイザー等を対象にしたファミツアー、現地セールスなどの様々な手法の中から、市内の関係者等とともに効果的な手法を検討し、実施する。

(6) その他

その他の国に対しては、JNTO（日本政府観光局）や長野県等の広域団体と連携し、海外での商談会や旅行博等への出展及び現地旅行会社等への誘客活動を行うとともに、オンラインによるセミナー・商談会にも積極的に参加することにより、効果的な誘客を行う。

3 観光客滞在時間延長事業

観光客の長野市及び周辺地域における滞在時間の延長を図るため、賑わいある街づくりと消費向上による地域経済への波及効果の創出を促す。

【実施内容】

- (1) 善光寺表参道、戸隠、松代を起点に市内の観光スポットの周遊を図り、滞在時間の延長に繋げる。
- (2) 長野市のガイドブックやパンフレットを市内宿泊施設等に設置することにより、観光客の周遊促進と滞在時間の延長に繋げる。
- (3) 市内のガイド団体と連携し、地域の歴史や文化を堪能できる「まち歩き観光」の充実により、滞在時間の延長及び再来訪に繋げる。

4 新たな観光の魅力創出事業

観光団体や観光事業者等との協働により、地域の観光資源を掘り起こし、隠れた観光名所等を具体的な旅行プランとして企画・提案することにより、訴求力を高める。また、誘客効果の大きい各種行事や祭り、イベント等を支援することで、観光誘客の促進及び地域活性化を図るとともに、事業を通じた住民の地域文化における魅力の再認識及び地域に対する愛情の醸成を促す。

民間旅行会社と共同で企画立案することで、持続的に民間での催行が可能となる商品の造成を進める。

【実施内容】

(1) 着地型旅行商品企画造成及び支援事業

長野の自然や食を堪能できる着地型旅行商品を民間旅行会社と共同で企画・実施し、長野市の魅力発信と誘客に努める。

なお、初期段階において、採算性の観点等から民間旅行会社での催行が難しい場合には、当法人が試験的に実施し、販売実績を得ることで民間による催行実現に繋げる。

(2) 各種観光行事・イベント・祭り支援事業

長野びんずる、長野えびす講煙火大会、長野灯明まつり等の観光行事や祭りを支援し、県内外からの誘客を図る。

(3) 食のプロモーション

旅行の重要な目的の一つである「食」について、長野の「食」の代表である“そば”のPRを強化するとともに、旅行商談会や観光キャンペーンにおいて、地域に根差した伝統食に加え、高品質な果物や日本酒、ワイン等の「食」の魅力を発信する。

5 観光案内施設の運営

長野市の玄関口であるJR長野駅構内の「長野市観光情報センター」は、長野市を中心とした北信地域をはじめ、長野県全体へ旅行する観光客やビジネスパーソンにおけるハブ機能をもった拠点を担う状況となっている。そのため、訪問する方々の様々なニーズに合った情報提供やPR、情報収集等を行うとともに、「おもてなしの心」による対応で訪れる観光客の利便を図り、また訪れたいくなる「長野市」・「長野県」を醸成する。

【サービス内容】

- (1) 長野市及び北信エリア、長野県内における観光情報の提供と案内
- (2) 各種チケットの交換、受付と販売等
- (3) 当日宿泊の斡旋
- (4) 電話等による観光案内に対するパンフレット等の送付
- (5) 車いすの貸出、外貨両替機の設置

6 フィルムコミッション事業

長野市及び北信濃地域で行われる映画・テレビドラマ・CM等の撮影を誘致するとともに、ロケに関する制作支援、広報支援を行うことで、撮影隊がもたらす直接経済効果の獲得と制作された映像作品を通してロケ地が広く紹介されることによる長野市の知名度及びイメージの向上に繋げ、新たな観光誘客及び地域経済の活性化を図る。

【実施内容】

- (1) 映画、ドラマ、CM、アニメーション等のロケ候補地の選定と映像制作者への提案
- (2) 映画、ドラマ、CM、アニメーション等のロケ撮影に係る交渉・連絡調整・地元業者の紹介
- (3) 映画、ドラマ、CM、アニメーション等のロケ撮影に係るエキストラ・ボランティア手配
- (4) 撮影支援作品の広報宣伝に絡めた撮影地のプロモーション活動
- (5) 市内ロケーション写真・映像資料、ドローン映像等の提供
- (6) 関係団体及び近隣市町村と連携したロケ撮影の情報共有及び誘致